

やまがた市議会報

発行 山形市議会 編集 山形市議会事務局 山形市旅籠町二丁目3-25 電話 642-8404 平成27年2月1日/191号
ウェブサイト <http://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/gikai/> やまがた市議会 検索



笑顔あふれる!!

元気いっぱい
力あわせて山のぼり!!

▲昨年12月にオープンした児童遊戯施設べにっこひろば

12月
定例会

中核市への移行に向け来年度から検討を開始

蔵王ジャンプ台のサマーヒル化に着手
年間を通じた利用で蔵王の活性化を目指す

P11参照

一般質問



F I S ジャンプワールドカップレディース山形大会 (昨年の様子)

山形市の発展に向けティクオフ

子どもの貧困
実態把握し適切な支援を



阿曾 隆 議員

質問 子どもの貧困率が拡大して、母子家庭のおよそ半数が貧困層といわれる中で、適切な支援が必要である。母子

回答 家庭実態調査の結果を分析し、家庭的に生活実態調査を行ってはどうか。

母子家庭が抱える課題を把握した上で、相談・就業・経済支援などを実施していく。本市のひとり親家庭の調査や自立促進計画の策定に向けて調査研究を行っていく。

質問 経済的な理由により進学できない子どもへの支援のため、県内大学や短大へ進学する生徒を対象に、返済義務の無い給付型奨学金事業を

回答 子育て支援として各種施策を実施し、保護者負担を軽減している。給食費は、公

質問者

質問の要旨

阿曾 隆 (質問) 子どもの貧困、再生可能エネルギーの活用、市営住宅、南部交流バス

遠藤 和典 (質問) 地球温暖化対策実行計画の実効性を高めるための提言、公共交通機関の充実、郷土愛を育むために

長谷川幸司 (質問) 山形市の観光、市長の4期目への考えなど、道の駅、地方創生課の設置、国の省庁との人事交流、雇用対策

武田 聡 (質問) 地域創生・東京一極集中回避政策に対する市長の基本スタンス、現実的な地球温暖化防止対策の進め方

丸子 善弘 (質問) 県都山形市としてスポーツ施設の充実を、市立保育園の今後のあり方、地方創生のとらえ方、指定管理者制度のあり方

斉藤 栄治 (質問) 地域医療の向上、子育て環境の充実、働く市民の生活向上、環境エネルギー政策、災害・公害対策、市民生活の向上

遠藤 吉久 (質問) 経済状況をどうとらえ市民生活の現状をどう認識するか、まち・ひと・しごと創生法

渋江 朋博 (質問) 解散総選挙の影響、山形市を魅力ある街にする、子どもたちの教育環境の整備、選挙

行っではどうか。
回答 国の施策の検討状況や県の動向に注目し、どのような対応が必要か検討していく。

質問 全国的に給食費の無償化に取り進む自治体が増えてきているが、本市の考えはどうか。

回答 子育て支援として各種施策を実施し、保護者負担を軽減している。給食費は、公

質問 再生可能エネルギー活用指針は数値目標や行動目標に具体性が無い。実効性の高い施策とするため、基本条例を制定してはどうか。

回答 現在、国や電力会社の動向に注目しながら、具体的な数値目標を入れた導入計画



▲大鍋に市民の思いを集結し次代に引き継ぐ芋煮文化



▲給食費の無償化で保護者負担の軽減を

ぼくわたし 込めた思いが鍋になる みんなで作る地域の誇り

遠藤 和典 議員



の策定を進めている。条例化は具体的な取り組みの中で検討していく。
質問 森林資源の利用促進のため、市西部地域を中心とする木質バイオマスの活用拡大により、雇用と地域活性化を目指すことが必要である。今後の取り組みをどのように考えているのか。
答弁 未利用の森林資源は収

集運搬コストなどに課題があり、有効活用は難しい。低コストでの有効活用に向けて研究している国の動向に注目していく。
質問 古い風呂釜であるバランス釜は劣化による不具合が心配され、重大事故を招くおそれがある。10年を経過した市営住宅のバランス釜は、市が責任を持って安全点検を实

施し、必要な修理や交換を行うべきだと考えるがどうか。
答弁 ガス事業者が3年ごとに定期保安調査を実施している。点検で不具合が見つかった機器は、指定管理者へ修繕の要請があり、その都度修理・交換などを行い、管理台帳で修理履歴も含め適切に管理している。
質問 地域交流バス南部線は、

南山形・本沢・村木沢と中心市街地を結び重要な交通手段であるが、所要時間が長いことや運行本数が少ないなど不便である。経路の見直しなどが必要だと考えるがどうか。
答弁 運行内容は、毎年停留所がある地区の自治推進委員と協議して必要な改善を行っている。引き続き地域と連携して見直していく。

質問 日本一の芋煮会の大鍋を、平成30年の第30回開催時の更新を目標に、市民や子どもたちにアルミ缶回収などの協力を仰ぎ製作してはどうか。
「ぼくわたし 込めた思いが鍋になる みんなで作る地域の誇り」
答弁 日本一の芋煮会フェスティバル協議会と検討している。「鍋太郎 みんなで作るアイディアを これからじっくり煮込みましょう」「リサイクル 思いをこめた大鍋に地球を愛する子どもの笑顔」
質問 民間事業所のCO2削減を支援するため、Jークレ

ジット制度への参加を勧める支援をしてはどうか。「事業所へ 優遇措置になるのでは Jークレ参加行政支援」
答弁 地球温暖化防止活動協賛事業所に制度の内容などを紹介し、参加希望があれば、関係機関との協力・連携を努めていく。「民間へ 更に伝えるクレジット 環境・財務にやさしい取り組み」
質問 山形駅山形寺駅間のJRの線路を借りて、鉄道を独自に運行してはどうか。「自ら民の熱意列車走らす」
答弁 鉄道事業には多額の費用を要するが、それに見合う利用者の増加が見込まれないため独自運行は行わない。「自ら走らす費用は相当や利用に合わせた適切本数」
質問 新都市計画マスタープ

ランは鉄道に改めて光をあてた土地利用とすべきではないか。「鉄道が 運ぶ新たなお客様 光あてよう既存インフラ」
答弁 山形中央インター産業団地への立地状況や既存の都市基盤の有効活用も踏まえ、適地も含めて検討していく。「産業団地 既存インフラ活用も 念頭に入れ立地検討」
質問 スポーツセンター前に臨時駅を新設してはどうか。「新駅が もたらす未来の可能性 周辺地域活性化に向け」
答弁 提案の設置場所は、羽前千歳駅から1km足らずで、同駅からスポーツセンターまでも約1・2kmであるため、新駅の設置を進める考えはない。「傍らに 既に駅有り新駅は 市域全体俯瞰し検討」
質問 最新鋭の空撮用ラジコ

ンヘリを導入し、観光PR用動画の作成や防災対策などに活用してはどうか。「最新の機材が写すわが街の 新たな魅力新たな安心」
答弁 荒天時の飛行が困難であるなどの課題があるため、今後有効な活用方法や費用対効果を検討していく。「無線ヘリ 新たな視点がおもしろい 活かす方策次なる課題」
質問 小・中学校で、読んだ本の履歴を残す読書通帳を導入してはどうか。「本開き 新たな知識身につくよ 記録が見れる心の貯金」
答弁 子どもが読書通帳への記帳を楽しむに本を読むなどの効果が考えられるため、優れた事例として小中学校長会で紹介していく。「たまるたび広がる知識と豊かな世界 自ら手に取る読書通帳」

※1 バランス釜…浴室内の浴槽脇に設置するガス式の風呂釜で、外壁からつき出した1つの筒で給排気を行うもの。
※2 遠藤和典議員が質問の一部を短歌形式で行い、市長・教育長も同様の形式で回答した。
※3 Jークレジット…温室効果ガスの排出削減量・吸収量を認証する制度。本制度により創出されたクレジットは低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなどさまざまな用途に活用できる。



プロ野球を開催できる 新野球場の建設を

長谷川幸司 議員



▲企業誘致が始まった山形中央インター産業団地

質問 新野球場は、プロ野球の興行もできる2万席を確保すべきだと考えるがどうか。

答弁 建設事業費や維持管理、プロ野球開催の頻度などを考えた場合に実現は無理であり、現在の計画で進めていく。

質問 平成20年度に観光基本計画を策定し、計画期間の3分の2を経過したが、これまでの成果はどうか。

答弁 観光客数の目標を達成している。今後も、一層の観光誘客を推進していく。

質問 台湾をはじめとする、親日的な外国人の観光客を増やす取り組みとしてはどうか。

答弁 台湾をはじめとする海外からの観光誘客は、県や村山地域などと広域的に連携しながら、観光ルートの設定などに取り組んでいく。

質問 市長の3期目の成果と課題はどうか。

答弁 保育所の整備促進や子ども医療給付の対象拡大、ベニコひろばオープンなどの成果を上げている。今後の課題は、サッカースタジアムへの対応や山形商業高の改築などである。

質問 道の駅は観光や6次産業のほか、災害時の拠点にもなる。山形中央インター付近が設置場所としてふさわしいと思うがどうか。

答弁 今後、設置場所や整備内容を検討する。

質問 政府が最重要課題として掲げる地方創生に、市長直

轄の部署を設けて取り組んではどうか。

答弁 市の総合戦略の中で組織見直しの必要性を検討する。

質問 国の省庁との人事交流を積極的に進めて情報収集すること、戦略的な街づくりを進めてはどうか。

答弁 経済産業省への派遣と東北経済産業局との人事交流を行っている。今後も機会を見ながら人事交流を行い人材育成に努めていく。

質問 山形中央インター産業団地は、研究開発部門に特化して誘致を進めてはどうか。

答弁 製造業のほか、研究開発部門などの誘致を目指している。企業からの要望・意見を聞きながら新たな支援の可

能性を検討していく。

質問 若者の働く場所が少ないとの声を聞くが、雇用対策をどのように考えているのか。

答弁 26年度は山形中央インター産業団地の募集も開始しており、雇用の確保に向け鋭意取り組んでいる。

質問 東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致に、積極的に取り組んではどうか。

答弁 誘致の意向があると県の意向調査に回答しており、誘致に向けて情報を発信していく。

質問 各種団体への補助金・助成金は、市民から不信感を抱かれることがないよう、明確な基準を設定してはどうか。

答弁 対象が多岐にわたる事業は、公平性を確保するために補助要綱で一定の基準を定めて対応している。



地域力を高め、県都としての 自覚と誇りを持った施策の推進を

武田 聡 議員

しめる代替策を構築すべきだと思うがどうか。

答弁 中止となった場合でも観光客や踊り手が楽しんでいただけるよう、県花笠協議会

質問 花笠祭りが雷雨などにより中止となった場合、県民会館や市民会館などを開放して、観光客と踊り手が共に楽

質問 消費用の熱源の確保が課題となっており、温泉水の

質問 観光資源として多くの

質問 蔵王での安全性をさらに高め、安心して来てもらうために、道路の消雪整備などを推進すべきだと考えるがどうか。

答弁 消費用の熱源の確保が課題となっており、温泉水の

質問 山寺の立石寺にある山

答弁 観光資源として多くの

質問 再生可能エネルギー固

質問 再生可能エネルギー固

*1 地方創生…東京圏への人口の過度な集中を是正するとともに、将来にわたって活力ある地域・日本社会を維持すること。
*2 山寺行啓記念殿…明治41年9月18日に東宮嘉仁親王（後の大正天皇）が山寺に行啓なされた際に小休止・昼食を摂る施設として使用するため建てられた建物。
*3 再生可能エネルギー固定価格買取制度…再生可能エネルギーで発電された電気を電力会社が一定価格で買い取ることを国が約束する制度。



新野球場の完成イメージ

▲観客席を増やしてプロ野球開催を



▲屋内型の50mプールが望まれる

県都山形市にふさわしい スポーツ施設の充実を

丸子 善弘 議員

定価格買取制度の影響などを踏まえ、現実を見据えた温暖化防止政策の見直しが必要ではないか。

答弁 制度の見直しは、再生可能エネルギーの普及と国民の負担抑制のバランスも検討されることから、国などの動向に注目しながら、導入計画に具体的な数値目標を盛り込んでいく。

質問 コミュニティバス西部循環線のさらなる利用を促進するため、土日の運行やイベント時の運行などをしてはどうか。

答弁 現状の平日運行を継続し、1便あたり10人という最終的な目標達成に向けた利用促進に取り組みながら、今後の利用や状況を踏まえて検討していく。

質問 総合スポーツセンターにある50m屋外プールは、雷雨など気象状況の影響を受けやすく老朽化も進んでいるため、屋内型に改修してはどうか。

答弁 当面は大規模な改修などは行わず、現状を維持していく。

質問 部活動などのスポーツ環境整備のため、外部顧問制

度の導入や中体連などへの引率の在り方を検討すべきだと思ってしまうか。

答弁 生徒がスポーツから学ぶ機会を確保するためにも、今後の日本中体連の動向や他市の先進的な事例なども踏まえ、実態に合った運用を県中体連へ働きかけるなど、市中体連とともに調査研究を進めていく。

建設すべきだと考えるかどうか。

答弁 新たなソフトボール場の建設は、現在のところ予定していない。

質問 山形商業高の改築の際に校舎を移転して、跡地に長水路プールや総合的な大型スポーツ施設を整備すべきだと考えるかどうか。

答弁 現在の計画でスポーツ施設を整備する予定はない。スポーツ施設の建設地として検討する以前に、まずは学校の改築場所として判断したい。

質問 少子化により保育所の入所者の減少が見込まれているが、市立保育所の今後をどのように考えているのか。

答弁 平成26年度末までに、市立保育所整備計画を策定するよう進めている。0歳児から2歳児までの低年齢児の

拡大や民間立保育所への指導と助言、障がい児や病後児への保育など、今後も市立保育所が果たすべき役割や機能を十分に検討していきたい。

質問 地方創生関連2法が成立し、本市の活性化のために各種施策を知恵を絞って実施する「行政力」の向上が求められる。国の動きをどのように把握しているのか。

答弁 地方公共団体の責務として法に定められている「区域の実情に応じた自主的な施策の実施」は、これまでも経営計画に盛り込み対応してきた。施策の推進には、自治体が財源を自主的に使える本来の枠組みが必要と考えており、地方交付税をはじめとする自主財源の充実を国に要望していく。

質問 25年度に行われた市斎

場と霊柩車の指定管理者の審査結果で、実績が全く無い団体が実績のある団体よりも評価が高かった。審査基準に不備があるのではないか。

答弁 指定の手続き等に関する条例に規定する4つの基準を基に、13の審査項目と26の審査ポイントを設けて審査した。審査基準に不備はなく、適正に候補者を選定している。

質問 指定管理者候補者等審査委員会の委員に、各施設の業務内容に見合った専門的知識を持つ第三者を加えてはどうか。

答弁 審査基準に基づき、施設の機能や特性に応じた審査項目と審査ポイントを客観的に反映させることで専門性を担保しているため、審査員の構成は適切なものと認識している。

※ 外部顧問制度…教員に代わり、一般の方が部活動の顧問となる制度。愛知県名古屋市で実施している。



中核市に移行し、魅力ある街づくりを発信せよ

斎藤 栄治 議員

質問 魅力ある街づくりを前に発信することで人口増加につながるよう、一定の権限を持つ中核市に移行すべきと思うがどうか。

答弁 他の特例市の状況なども踏まえ、市民サービスのより一層の向上を図るためにも、中核市へ移行すべきと考えている。移行に向けた取り組みを進めるため、平成27年度は新たな担当を設け、財政や要員、時期などの検討を始めたと考えている。今後は、県や関係機関と十分連携しながら、支援・協力が得られるよう準備を進めていく。



▲消防団の処遇や装備の改善を



魅力ある山形市づくりを急げ!!

遠藤 吉久 議員

質問 市民生活の安全・安心、福祉の向上につなげるための平成27年度当初予算の編成方針と目玉施策は何か。

答弁 27年度は第2期経営計画の4年目に当たり、計画全体の推進と進展に向けた大変重要な年である。重点施策の大きな課題である新野球場の

質問 医療体制の充実と地域医療の向上を図るため、医療従事者に対する修学資金貸付制度を創設してはどうか。

答弁 修学資金貸付制度を独自に創設する予定はないが、県が保健医療従事者の確保と資質向上のために、医師や看護師を生涯に渡ってサポートする施策を推進していることから、県と情報を共有し、事業のPRなどの協力をしていきたい。

質問 在宅ケアに関わる医療・保健・介護・福祉関係者で設立された団体があるが、このような取り組みを市が中心となって積極的に行い、地域包括ケアシステムを周知していくべきではないか。

答弁 医療と介護の連携推進は重要な取り組みであり、多職種連携を図るための在宅

医療連携拠点の設置を検討している。設置にあたっては、市医師会と情報交換しながら、効果的な取り組みとなるよう検討している。

質問 市の臨時職員の賃金はあまりにも低く、ワーキングプアを生み出す恐れがあるのではないかと。市民の生活を守ることも待遇を改善すべきだと思いませんか。

答弁 非常勤職員の業務の整理を行っているが、臨時職員の賃金は、27年度に向けて引き上げる方向で見直していきたい。

質問 子ども・子育て支援新制度での、今後の待機児童数の見直しと対応はどうか。

答弁 新制度開始により特定保育が廃止されるため、一時預かり事業の利用条件を見直すことで、年度途中の保育

ニーズに対応できるよう検討している。認可保育所の創設や既存の認可外保育施設の認可化への移行、新たに制度化される小規模保育事業の促進により、保育定数の拡大を図りながら待機児童の解消を目指していく。

質問 消防団は地域の防災を担う大きな力として重要であり、自主防災組織や地域住民の中心となるべき存在のため、活動報酬の見直しや貸与物品の充実などの待遇改善をしてはどうか。

答弁 平成25年12月に制定された消防団等充実強化法において、消防団員の処遇や装備の改善などが求められている。すでに整備しているものもあるが、他都市の状況を考慮しながら今後も計画的に取り組んでいく。

質問 人口減少社会において本市が今後も継続的に発展していくためには、市が所有する資源を最大限に活用した取り組みによって持続可能なまちづくりを進めることが重要である。このような視点から施策を検討して総合戦略に盛り込んでいく。

質問 人口減少に対する活性化対策の一つとしても期待される都市計画マスタープランをどのように位置づけていくのか。

答弁 20年後を見据えた都市計画の基本方針を定めるものであり、その方向性に基づき関連計画などの見直しを行いながら、具体的な施策を展開していく。



▲利便性の高い運行を

質問 山形青年会議所が10月に発表した「山形さん」を小中学校などで活用することで山形をより深く知り、好きになってもらうのではないかと考えているが、

答弁 「山形の魅力再発見！」やまがた大好きフェスタ」で披露され、子どもを中心に来場者から好評だったと聞いている。青年会議所と共に、利活用の在り方を検討していく。

質問 増税の延期により、増税を前提に準備を進めているさまざまな施策に影響があると思うがどうか。

答弁 国の検討状況を見ながら予算を執行するとともに、

質問 南北を往来する列車の運行と増発は、機会を捉えてJRに要望していく。

質問 地域の活性化や医療福祉分野への貢献など、多様な可能性があるパークゴルフの普及を推進するために、本市東部にある馬見ヶ崎川の河川敷にもコースを整備してはどうか。

答弁 生涯を通して楽しめるスポーツの普及は、市民の健康増進の観点からも非常に喜ばしいことである。河川を管轄する県の考えや、整備後の維持管理をする地域団体の意向を確認していく。

質問 本市の小学校で実施しているスキー教室は、山形ならではの授業だが、移動手段として利用しているバスの料金値上げにはどのように対応するのか。

答弁 現行の制度で当分の間継続したいと考えているが、値上げが与える影響を調査研究していく。

質問 障がい児の学習・生活支援を行う「魔法のプロジェクト」に第三小学校が参加しているが、この研究成果を生かして、他の小・中学校でも積極的にタブレット端末などを活用すべきだと思うがどうか。

答弁 画面の拡大や音声読み

質問 山形中央インター産業団地への企業誘致の際に、研究開発部門に優遇措置をするなど、雇用の質に注目した誘致を行っているがどうか。

答弁 事業用定期借地権による貸付制度を創設し、研究開発部門の立地に対し、優遇制度を適用する。



※1 山形さん

地域の魅力を再発見



▲県民会館移転後も有効活用を

見直してはどうか。

答弁 新都市計画マスタープランでの土地利用構想が具体化した段階で、県の方針との整合性などを検討するとともに、農業利用上、支障がないことを踏まえて、農業振興地域整備計画における農用地利用計画の変更などについて関係機関と調整しながら定めていく。

質問 県民会館の移転に伴うまちづくりをどのように考えているのか。

答弁 県が主催する山形駅西口拠点整備の県市等連絡調整会議などで情報を把握しながら、有効活用策を県に提言していく。

質問 二世帯、三世帯住宅建設へより充実した補助をするとともに、より安価な住宅建

設のために、市・県産材を活用した部材供給体制をつくってはどうか。

答弁 二世帯、三世帯同居は、介護や子育ての面で大きなメリットがある。同居を推進するための支援制度について、現在のリフォーム補助や市産材を活用する際の補助制度とあわせて検討していく。

質問 24時間介護のサービス

体制を独自に充実させてはどうか。

答弁 国の在宅サービス重視の方針と、介護を要する高齢者の一層の増大に対応するため、今後も24時間介護サービスを必要とする高齢者に適切なサービスが提供できるよう、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への周知と啓発に努めていく。

※1 山形さん…山形のPRを目的とした、ダンス付の曲。

※2 魔法のプロジェクト…携帯情報端末を一定期間無料で貸し出し、校内での学習の場などで活用し、その具体的な事例を研究・公開することで、障がい児の学習・生活支援を促進することを目的としている。

市民の安全・安心なまちづくりのため 「まちの安全ふるさと応援基金」を創設

予 算 委 員 会

平成26年度の山形市一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計などの補正予算8件について審査しました。

ふるさと納税のお礼の品で 山形市の物産アピールを

総務分科会

委員 ふるさと納税はお礼の品などの工夫で多くの寄付を集めることができる。地元物産の宣伝にもつながると思うがどうか。

企画調整部長

平成27年度か

らお礼の品の取り扱いを見直し、紅花染めのハンカチと山形市を紹介する冊子に加え、1万円以上の寄付をいただいた方には2000円相当の品を進呈している。現在は食料品を中心に事業者から協力いただいているが、来年度は幅広く協力いただける事業者を募りたい。

委員 本市の正規・非正規雇

12月の主な補正予算 一般会計 13億4,250万円

<主なもの> (千円以下切り捨て)

- 障がい福祉関係給付費… 3億4,200万円
- 生活保護費…………… 3億2,600万円
- 人件費…………… 2億1,906万円
- 地域福祉基金積立金…………… 2億63万円
- こども医療費…………… 7,070万円
- 蔵王ジャンプ台サマーヒル化
実施設計委託料…………… 600万円

用の動向はどうか。また、地方では景気回復を実感できないといわれている中で法人市民税を増額するが、どのような業種が伸びているのか。

市民税課長 有効求人倍率は1・1倍を超え、正規雇用も0・66倍と過去最高の状況であり、雇用情勢は改善している。また、製造、金融、証券

およびサービス業など、運輸・通信業以外の業種が25年9月と比較して伸びている状況にある。

委員 たばこ税を活用して分煙室を設置してはどうか。

財政部長 たばこ税は使い道が限定されてなく、行政需要全般に有効に活用している。分煙室は、たばこ税とは別に議論すべきものと考ええる。

委員 スポーツ振興くじ助成金の減額補正の理由は何か。

財政課長 球技場整備の財源の一部として助成金を見込み、6800万円の交付申請をしたが不採用となった。その理由は、国体に向けたジャンプ台整備や除雪車購入など、近年、本市が受けてきた助成実績が多かったことに加え、県内他団体などからも申請があったことなどが考えられる。

委員 最上家47代当主公義氏のご遺族から寄付をいただ



▲山形の繁栄の基礎を築いた最上義光公

だが、その使い道はどのよう
に考えているか。

財政課長 最上義光歴史館に役立ててほしいという寄付者の意向があるため、最上義光公の顕彰にふさわしいものと考えている。

防犯・交通安全対策を 4月から強化

厚生分科会

委員 まちの安全ふるさと応援基金積立金をどのように使っていくのか。

市民課長 防犯カメラの設置や青色防犯回転灯付きパトロール車への支援、交通安全啓発モデル活動事業などに活用していく。

委員 特定不妊治療費助成の対象者に男性を加えることも

に、助成額を増額するとのことだが、年度当初までさかのぼって増額する考えはないのか。

健康課長 年度内は同じ対応にする考えもあったが、県に合わせ11月分から適用する。男性を対象者に加えるだけとする選択肢もあったが、周辺自治体の状況を考慮し、助成額を増額することとした。

委員 女性の場合は年齢制限があるが、男性はあるのか。

健康課長 年齢制限はない。

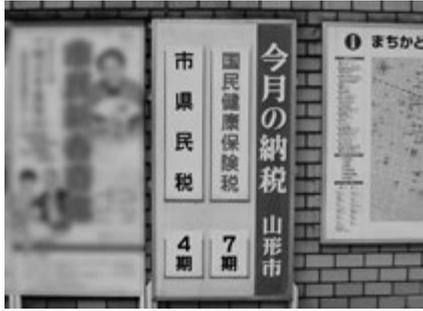
委員 リーマンショック後の生活保護受給者数はどうか。

生活福祉課長 平成20年度末は、889世帯1134人だったが、21年度末には1000世帯を超えた。26年9月末では1492世帯1892人となり過去最高になっている。

委員 生活保護受給者への指導によって就労した人は、どのくらいいるのか。

生活福祉課長 生活保護の受給停止や廃止になった方は少ないが、中間的就労支援により47人の就労につながっている。

委員 生活保護において医療と介護の扶助費の増加が見込まれているが、減らす手立はあるのか。



▲増加する医療費のため納税も忘れずに

生活福祉課長 生活保護法の改正により健康の指導が追加されたため指導しているが、受給者自身も健康を保つ努力が必要だと考えている。

委員 認可保育所の改築が遅れた原因は何か。また、4月からの定員に影響はないのか。

こども保育課長 2階建てから3階建てへの設計変更が必要となり、事業者側の事務が遅れが生じた。現在の施設は定員90人だが、面積が広いため4月から定員を30人増やすことが可能であり、定員への影響は出ない。新しい施設は9月の完成を予定している。

委員 医療費の増加をどのくらい見込んでいるのか。

国民健康保険課長 当初予算では前年比2・5%を見込んでおり、現在は1・2%程度となっている。

蔵王ジャンプ台
サマーヒルの活用方法は？
産業文教分科会

委員 蔵王ジャンプ台のサマーヒル化により、他会場で行われている国際大会を誘致するのか。それとも新たな国際大会を誘致するのか。

スポーツ保健課長 コンチネンタルカップはまだ需要があると聞いており、全日本スキー連盟と協議しながら国際スキー連盟にも働きかけ、誘致を検討したい。

委員 合宿や国際大会の誘致のほかに、通年の観光資源として活用する考えはあるのか。

スポーツ保健課長 蔵王ジャンプ台は国際的にも8カ所程度しかない新たな規格で整備している。高梨沙羅選手が合宿している時などにジャンプ台の形状なども売りにしながら誘客できると考える。

委員 球技場の運営主体や利用基準などは決まっているのか。

スポーツ保健課長 人工芝などの維持費もわからないことから、当面は業務委託で運営し、その後の、指定管理への移行を考えている。サッカーやグラウンドゴルフなど人工芝



▲夏場も多く観光客が訪れる札幌市大倉山ジャンプ競技場

のできるものは広く貸し出したい。

委員 イベントやコンサートでの使用はできるのか。

スポーツ保健課長 使用は可能だが、施設が住宅地に隣接しているため、周辺住民から受け入れられるかが問題である。実際の判断はそのときに検討したい。

委員 農地流動化支援対策事業費の補正額である390万円はどのように積算したのか。

農委事務局次長 面積は40ha、30名程度の交付を見込んでいます。

委員 米価下落対策緊急資金を借りた後の返済期間などはどうなるのか。

農政課長 据え置き期間がない返済期間3年の融資制度だが、利子補給を行うため、農業者は無利子となる。

切れ目のない道路維持補修で
地域経済の向上を図る
環境建設分科会

委員 道路維持補修事業の9月補正後の状況はどうなっているのか。

道路維持課長 11月末で側溝整備が約83%、水路整備が約32%、路面清掃が約85%、舗装補修と街路樹の剪定はほぼ100%の進行状況となっている。

委員 ごみ袋の調達予算を原料となるナフサの価格高騰に伴い増額するが、委託業者との契約内容はどのようになっているのか。

ごみ減量推進課長 経済情勢の変動などにより、契約単価が著しく不相当と双方が認めるときに、協議の上、契約単価を改定できるようにしている。

委員 著しく契約単価が不相当であると判断する基準はあるのか。今回の増額補正の経緯はどうなっているのか。

ごみ減量推進課長 基準はないが、ナフサ価格が契約時に比べ30%上昇しているため、人件費などを除いた20%分を増額補正するものである。

委員 契約単価改定の協議に



▲街路整備が進む四日町日月山線

あたり、基準を明確にしてガイドラインを示すべきだと考えるかどうか。

ごみ減量推進課長 平成28年度からの次期契約に向けて検討していく。

委員 今回負担金の対象となる県施行都市計画街路事業の2路線の総事業費はどのくらいか。

都市政策課長 26年度の総事業費は約11億円となっている。

委員 駐車場事業会計から一般会計への繰出金が増えているが、収益を何らかの市民サービスにつなげることはできないのか。

道路維持課長 今後、設備の老朽化も見込まれるため、精算機などの補修、機器の更新および最新のサービス提供という形で利用者に還元していきたい。

※ ナフサ…原油の蒸留によって得られる石油化学製品の原料。原料であるエチレンやプロピレンなどからプラスチックができる。

市民会館の管理運営は 来年度以降も共同事業体が実施

常任 委員会

山形市民会館の指定管理者の指定や放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、都市公園条例及び体育施設使用料条例の一部改正などの議案10件を審査しました。

市民会館の指定管理を審査

総務委員会

委員 市民会館の指定管理は前回と同じ団体からの申請だが、提案の中で大きく改善されている取り組みなどはあるのか。

文化振興課長 これまでもサービス向上や利用者数の増加に取り組んでおり評価は高



▲多彩な催し物で年々魅力が増している市民会館

かった。このたびの提案では、サービス向上やリピーター獲得に向けた鑑賞友の会の立ち上げのほか、地元出身の芸術家などを招いてのワークショップの開催など創造的な取り組みがあった。また、施設の老朽化を踏まえた予防保全の修繕計画の提案もあった。

委員 指定管理者には経営能力が求められるが、審査員に経営者は含まれていない。今回の事業者は優れた事業体だと思うが、審査の在り方として、現在の審査委員の体制で十分なのか。

企画調整部長 本市が求める業務内容に沿った仕様書と、事業者からの提案書を基に整理した選定基準のポイントに沿って、各審査員が評価を行い審査している。

委員 景気の回復が感じられないなか、なぜ給与改定をするのか。

職員課長 公務員は労働基本権の制約があり、労働協約に基づく給与決定ができないため、その代償として人事院・県人事委員会の勧告を参考に決定している。今回、県人事委員会が民間給与調査に基づき勧告を出し、それを受けて給与の改定を行う。

委員 県内では民間給与と調査を独自に行っている市町村もある。本市も独自に調査をするべきではないか。

職員課長 県人事委員会と同様の調査を行うことは、調査期間・経費・人員の面から難しい。本市においては、県の調査を適切に活用できると考えている。

放課後児童クラブの基準を条例化

厚生委員会

委員 条例の基準を満たしていない放課後児童クラブへの5年間の経過措置とあるが、どこまで支援するのか。

こども福祉課長 これまでも大規模クラブの分園や未設置地区への設置をしており、経過措置の期間中に基準を満たすよう計画的に整備していきたい。



▲基準をより明確にして過ごしやすい環境を整備

委員 施設整備の検討が必要なクラブはどのくらいか。

こども福祉課長 新入生の数などにもよるが、今年度の状況で基準を満たさないと考えられる18クラブである。

委員 指導員の目が届くよう1部屋で運営しているところも多く、学習する子どもと遊ぶ子どもが混在しているが、今後どのような施設整備で保育の質を高めていくのか。

こども福祉課長 分園の際は学校や公共施設への移転が基本だが、適地がない場合は民間施設の活用も検討している。地域の実情を踏まえて個別に対応していきたい。

委員 非常時の対策や相談窓口での苦情処理などの運営状況はどのように確認するのか。

こども福祉課長 平成27年4月よりクラブからの届け出制

となる。現在もクラブへの調査により確認しているが、基準が条例に規定されるため、より丁寧に対応していきたい。

委員 国は、消費税の増税分を子ども・子育て関連に充てるとしているが先送りとなった。財源は確保できるのか。

こども福祉課長 子ども・子育て支援新制度は、国から予定通りに施行するとの通知がきているため、予定通り事業を進めていきたい。

委員 まちの安全ふるさと応援基金は、どのようなものに使われるのか。また、地区からの要望はあるのか。

市民課長 防犯カメラを設置する。また、各地区の青色回転灯付きパトロール車両の経費の一部助成や交通安全啓発モデル活動事業への補助は、申請に基づき交付していく。



▲市民の安全安心を守る防犯カメラ



▲多目的な利用ができる山形市球技場

平成27年4月に 球技場がオープン

産業文教委員会

委員 球技場の料金設定は、サッカーやラグビーなどの団体使用のほか、個人での使用も想定しているのか。

スポーツ保健課長 多目的運動広場のため、利用団体が設備を準備して使用する必要があることから、団体利用で設定している。

委員 これまでの照明は100ルクスまで照度を選べたが、球技場は250ルクスに統一するのか。

スポーツ保健課長 各種競技団体と協議し、250ルクスに設定している。

委員 多目的な利用ができることから、球技場に愛称を付けてはどうか。

スポーツ保健課長 今後、検討したい。

委員 東南村山地区視聴覚教育協議会廃止後はどのように教材の貸し出しをするのか。

社会教育青少年課長 これまでと同様に西部公民館で貸し出しを行う。DVDなどは図書室、機材とVHSは協議会が使用していた部屋で貸し出しを行う。

委員 奨学金貸付条例を廃止することのだが、返済状況はどうなっているか。

学校教育課長 返還が滞っている人も多く、平成26年11月末時点で延べ49人、889万円ほどの滞納があり、そのうちの780万円ほどが過年度分である。現在も督促をしなから返還してもらっている。

委員 貸付者が県の制度に移行しているとのことだが、このような状態はいつ頃から続いていたのか。

学校教育課長 17年度に育英会の奨学金事業が県に移管され、本市と同じような制度となったため、徐々に本市の貸付者が減少し、26年度は新規貸付が0人となった。25年度は1309人、26年度は1180人が県の奨学金を借りている。

立谷川・半郷の清掃工場を 広域環境事務組合へ移管

環境建設委員会

委員 清掃工場移管後の運営体制はどうなるのか。また、安全の確保はどのように行うのか。

廃棄物施設課長 焼却部門は、移管先の広域環境事務組合からプラントメーカー関連企業への委託を想定しており、年度内に従事者研修や引き継ぎが行われる。移管後も管理部門に職員を派遣し、安全運営のために指示していく。

委員 清掃工場勤務の市職員は、4月以降どうなるのか。

環境部長 事務組合へ派遣する職員以外は学校などへの異動を想定している。

委員 派遣する職員の特殊勤務手当は同じ条件で維持されるのか。

環境部長 派遣先の規定が適用されるため、同様の手当が維持されるよう市職労や事務組合と十分に調整していく。

委員 技能労務職員の異動は、労働条件に関わるものである。職員が不安や不満を抱いているが、これまで話し合いがなされていたのか。建物解体への交付金活用を先行するあま

り、経緯や今後の勤務体制等の説明や対応に丁寧さが欠けていたのではないかと。

環境部長 現在も市職労と協議を行っているが、事務組合や構成する2市2町間の合意形成に時間が掛かり、説明が遅れたことを反省している。今後も協議を続けていく。

委員 移管による職員の引き上げは、施設の老朽化に伴う故障などの危険から責任を回避するためではないのか。

環境部長 平成30年までの安定稼働を見越して稼働延長工事を行っているため、危険な施設とは考えていない。

委員 半郷清掃工場の跡地利用はどことが窓口になるのか。

廃棄物施設課長 建物解体は事務組合が実施するが、跡地利用に関する地元との調整は市が行う。



▲移管が決まった立谷川清掃工場

山形市が目指す「中核市」とは??

県の事務権限を住民に身近な市に移譲し、行政サービスの向上を目指す指定都市制度で、人口要件により特例市と中核市に分けられています。山形市は現在、特例市として一部の事務権限の移譲を受けています。平成27年4月からは、地方自治法の改正により特例市が中核市に統合され、人口要件も20万人以上に引き下げられることから、今後、中核市への移行に向けた具体的な検討を行っていく予定です。中核市になると保健衛生、民生、環境、まちづくりなどに関する多くの権限が移譲され、これまで以上に市の特性や地域のニーズを生かした行政サービスの提供が可能になります。

〔権限が移譲される主な事務〕

- ・保健所の設置
- ・飲食店の営業許可、温泉の利用許可
- ・保育所、養護老人ホームの設置認可
- ・介護サービス事業者の指定
- ・身体障害者手帳の交付
- ・一般・産業廃棄物処理施設の設置許可
- ・屋外広告物の条例による設置制限

請願・陳情

12月定例会で審議された請願は、新たに提出された3件と継続中の2件です。陳情は、新たに提出された1件を所管する委員会に配付しました。各委員会での審査結果は以下の通りです。

(※印は請願者による意見陳述が行われたものです。)

		件名		紹介議員	所管委員会	審査結果
		提出	者			
請願	第5号	継続	山形県受動喫煙防止条例の制定を求めることについて NPO法人山形県喫煙問題研究会 会長 川合厚子	小野 仁 遠藤 久 伊藤 香 今野 誠	厚生	不採択
	第12号	継続	消費税増税の撤回を求めることについて 消費税廃止山形地区各界連絡会 代表 佐藤 弘	阿曾 隆	総務	継続審査
	第14号	新規※	社会福祉法人への法人税課税回避を求めることについて 山形市民間立認可保育所連絡協議会 会長 海和宏子	斎藤 淳 遠藤 久 阿曾 隆	厚生	採択
	第15号	新規	米の需給安定対策に関する件について 山形農業協同組合 代表理事組合長 板垣平治郎 ほか1人	阿部 喜之助 今野 誠一 斎藤 栄治	産業文教	採択
	第16号	新規	農協改革に関する件について 山形農業協同組合 代表理事組合長 板垣平治郎 ほか1人	阿部 喜之助 今野 誠一 斎藤 栄治	産業文教	継続審査
陳情	第5号	新規	横田めぐみさん拉致事件に関することについて 日本軍海兵隊 片木 豊		総務	配付のみ

●議決の結果は、16ページ「議案の賛否一覧表」をご覧ください。

意見書(要旨)

12月定例会で可決された意見書は2件です。いずれも関係機関に送付しました。

社会福祉法人への法人税課税回避を求める意見書

現在、社会福祉法人が実施する介護事業や保育事業への課税化が検討されているが、そもそも社会福祉法人は非営利法人として、その利益を福祉事業以外に充当してはなら

ないとされている。さらに、法人設立時の寄付者の持分は認められず、法人の解散時には残余財産は国庫に帰属するなど、強い制約の下に国民に安定的な福祉を提供している。また、社会福祉法人の実施する保育事業から生じた収益は、地域の子育て支援等の少子化対策に直接的に活用することが有益と考える。

よって、社会福祉法人への法人税課税が実施されることにより、民間立認可保育所の運営基盤が崩れることで、安心して子どもを産み、子育てしやすい環境、子どもが健康に育つ社会の構築が阻害されないよう、法人税課税の回避を強く要望する。

米の需給安定対策に関する意見書

高い在庫水準や作柄等を背景に、米の需給は緩和基調で

推移しており、26年度米は出回り時からかつてない水準にまで価格が下落し、生産現場では大きな不安と混乱が広がっている。

こうした状況のなか、担い手が来年以降も意欲を持って営農を継続していくためには、26年度米の価格下落等に対する緊急的な対策を実施するとともに、米価変動に対応する万全な経営安定対策を構築していく必要がある。

よって、政府・与党・関係者が一体となり、生産者が将来にわたって安定的な稲作経営を展望でき、夢と希望をもって米づくりに取り組み、わが国が誇る水田農業を次代に継承していけるよう、次の事項について強く要望する。

- 1 本県農業及び稲作農家の経営はもとより、地域経済に与える影響に鑑み、需給と経営安定に向け、過剰米及び米価下落の緊急対策を講ずること。
- 2 米の需給と価格の安定を図るため、政府備蓄米の柔軟な買入・売渡の仕組み等の措置により、豊凶等による米の需給変動を補正する仕組みを構築すること。
- 3 米価の下落と低迷が懸念される中、生産調整に取り

組む全ての稲作農家が、将来にわたって安定的な稲作経営を展望でき、経営の安定化により創意工夫を生かした経営を展開できるように、米価変動に対応しうる経営安定対策を構築すること。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員のうち、1人の任期が12月21日で満了することに伴い、引き続き平吹氏の選任について全会一致で同意しました。

平吹 和之氏(五日町)

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

人権擁護委員のうち、6人の任期が3月31日で満了することに伴い、次の方の推薦について全会一致で同意しました。

- 丹野 関夫氏(落合町)
- 小関 徳雄氏(北町)
- 安達 明美氏(吉野宿)
- 植田美由紀氏(あこや町)
- 平 洋一氏(東原町)
- 横山 一則氏(富の中)

委員会名	日程	視察地	視察項目
議会運営委員会 (1班)	10月1日(水) 10月3日(金)	長野県長野市 長野県岡谷市 山梨県甲府市	議会運営および 議会改革について
議会運営委員会 (2班)	10月14日(火) 10月16日(木)	埼玉県所沢市 神奈川県小田原市 東京都町田市	議会運営および 議会改革について

本市議会では、先進的な施策を実施する他の自治体などへの視察を行っています。今回は議会運営委員会の視察内容をお知らせします。

委員会 視察報告

災害の発生に備えて 議会運営委員会 (1班)

岡谷市は、平成18年の豪雨により同時多発的に土石流が発生したことや東日本大震災の発生により、議会内に災害対策の危機感が高まり、岡谷市議会災害対策支援連絡会議設置要領を施行し、災害時対応マニュアルを作成しています。実際にメールの発信・受信などによる安否確認および情報収集や提供、議員の参集訓練などを実施しており、参集した際には消防職員による救急救命講習を受講するなど、危機管理体制の整備に取り組んでいます。また、市の防災訓練に合わせてメールでの発信・受信訓練などを継続して実施するなど、本市で今後検討すべき災害時における議会の体制について、大変参考になるものでした。



見える議会を目指して 議会運営委員会 (2班)

所沢市は、議会の評価は議会自らが行うものとして積極的な議会事業評価に取り組んでいます。議会基本条例に規定した全項目の達成状況を検証して、拡充・継続・改善・終了などを評価しています。検証の結果は項目ごとに議会事業評価表にまとめて市民にも公表しており、議会活性化のための大切な取り組みとなっていました。

町田市では、市民にいち早く議案の内容、委員会での質疑や審査経過、議決結果などを報告する取り組みとして、議案ごとに「議案カルテ」を作成し、ホームページでわかりやすく公開しています。

継続した議会改革の取り組みや開かれた議会運営を進める上で、大変参考となる視察になりました。



はながた **ベニちゃん** の ぎかいあれこれ

～ようこそ山形市議会へ 行政視察受け入れ大幅増加中!!～

各議会では、先進的な取り組みや議会運営を実際に目で見て聞いて勉強し、それぞれの議会での審議や政策提言に生かすために、先進地視察をしているベニ。平成26年度は、北は北海道から南は宮崎県まで、52件、384人の議員さんに山形市に来ていただいたベニ。大幅に年々増加しているベニよ!!「山形市コミュニティファンド」やベニちゃんおすすめの「山形まるごと館 紅の蔵」など、山形市の進んだ取り組みをたくさんお伝えすることができたベニ。山形のおいしいものもいっぱい堪能していただいて、ベニちゃんもとってもうれしいベニ～♪ これからも、全国に自慢できる(進んだ)取り組みを、議会でたくさん話し合っ実施して欲しいベニね。

1 月 臨 時 会

1月臨時会が1月7日に開かれ、灯油などの価格高止まりに対応する福祉灯油購入費の給付と、農業生産資材高騰に対し支援する、無利子貸付制度に係る利子補給の補正予算が上程され、総務・厚生・産業文教の各分科会に分割付託の上、審査を行いました。

審査の後、予算委員会で全員異議なく可決すべきものと決定し、本会議で予算委員長の報告を受けた後、採決した結果、全会一致で可決されました。



▲灯油価格の高止まりに対応するため福祉灯油購入費を給付

議会報研修会に参加

平成26年11月7日に、県市議会議長会主催の議会報研修会が寒河江市で開催され、議会報委員4人が参加しました。

東北芸術工科大学文芸学科講師の藤原千尋氏を迎え、「市民とつながる議会報づくり」の演題で行われました。実際の議会報を題材に、読者の目に留まる表紙のレイアウト手法、記事の組み立て方などの留意点、伝えるべきことを明確にした写真やイラストなどでメリハリのある紙面づくりを行う必要性、読者の関心を高めるためのアイデアや工夫などを学びました。今回の研修成果を、読みやすくて親まれる「やまがた市議会報」づくりのために生かしてまいります。



▲読まれる議会報づくりの手法やアイデアを学びました

議会 日誌	
8日	総務・厚生・産業文教・環境建設分科会
5日	総務・厚生・産業文教・環境建設分科会
4日	予算委員会、環境建設委員会
3日	議会報委員会
2日	本会議（一般質問）
(12月)	本会議（一般質問）、議会報委員会
27日	本会議、議会運営委員会
26日	産業文教委員会
20日	議会運営委員会
(11月)	環境建設委員会
30日	議会運営委員会
17日	環境建設委員会
11日	議会運営委員会
12日	本会議
18日	議会報委員会
22日	厚生委員会
(1月)	議会運営委員会
5日	議会運営委員会
7日	本会議、予算委員会
1月	臨時会
	総務・厚生・産業文教分科会、議会運営委員会

3月定例会の日程（予定）

2月26日（木）
～3月24日（火）

日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎023(642)8404

議会報告会を開催しました

昨年度に引き続き、議会報告会を平成26年11月に開催しました。市内8カ所のコミュニティセンターで122人の市民の皆さまにご参加いただき、9月定例会の議会活動の報告や参加者との意見交換を行いました。

今回の報告会でお寄せいただいた主なご意見を紹介します。

- ・買い物弱者や交通弱者のために、バス路線の整備や見直しをしてほしい。
- ・人口減少への対応として、仙台からの移住促進対策を検討してほしい。
- ・就労の場を確保するため、産業団地への企業誘致を促進してほしい。
- ・空き家対策に民間の手法を取り入れてほしい。
- ・公共工事の期間が長すぎるのではないかな。
- ・認定農業者への助成を5年間に限らず延長してほしい。
- ・議会報告会への参加者が少ないのではないかな。

お寄せいただいた貴重なご意見は、全議員で共有するとともに、議会活動を通して今後の山形市の発展につなげていきたいと思っております。ご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

この報告会は毎年11月に開催する予定です。議会ホームページや「やまがた市議会報」でもご案内いたしますので、市民の皆さまのさらなるご参加をお待ちしています。



みみより情報

上山市 上山市民俗行事 かせどり 加勢鳥

と き 2月11日(水・祝)午前10時～午後3時30分

ところ 上山城～市内

内 容 江戸時代初期から伝わる、ケンダイというミノをかぶった若者に祝いの水をかけ五穀豊穡と商売繁盛を祈る上山伝統の民俗行事です。

ぜひご覧いただき、勢いよく水をかけてみませんか？

問い合わせ先 上山市観光物産協会 ☎672-0839

山辺町 まんだらの里 雪の芸術祭

と き 2月7日(土)

ところ 作谷沢ふれあい自然館とその周辺

内 容 雪のオブジェや炎に囲まれる幻想的な祭りです。

問い合わせ先 作谷沢公民館 ☎666-2121

中山町 だんご木市

と き 3月4日(水)午前9時～午後4時

ところ 中山町上町通り

内 容 中山町役場前の上町通りで行われるだんご木市。だんご木のほか、出店も立ち並び賑わいます。

問い合わせ先 中山町観光協会 ☎662-2114

